

スクリーンインキ  
反応型インキ

一般印刷 | 二液反応型

# HIPETインキ 9300シリーズ

ポリエステルフィルムやポリカーボネートへの印刷用に開発した、ウレタン系の高性能二液反応型スクリーンインキです。

## 製品の特長

- 硬化皮膜は柔軟性がありかつ強靱で耐熱性に優れています。
- 熱絞り加工やインサート成形用の印刷に適します。

## 特性

可撓性 強靱な硬化皮膜 柔軟性 接着性

## 耐性

耐熱性

## 推奨被印刷物

## 材質

ポリカーボネート [PC] ポリエステル系 未処理ポリエチレンテレフタレート [PET] PETフィルム PET計器  
PET銘板 エンジニアリングプラスチック ポリアミド [PA] PBT 金属、ガラス、セラミック、ハードコート処理面  
金属素地 アルミ

## 最終製品

ホワイトボード 銘板

## 後加工・二次加工

インサート成形 熱絞り加工

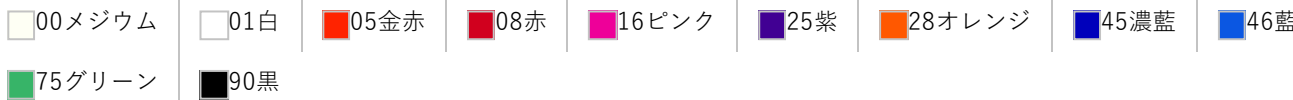
## 仕上り・質感・見た目の効果

## 仕上り

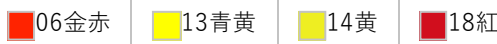
グロス

## カラー・グレード

### 標準色（一般色）



### 標準色（耐候色）



## スペック

### 荷姿

1kgインキ缶

## 使用方法

- 次の比率で、インキ、硬化剤および硬化促進剤を配合し、テトロン溶剤で希釈し印刷します。
  - インキ 100部
  - 硬化剤JA-950 10部
  - 硬化促進剤JA-E11 0～2部
- ポリカーボネートに印刷する場合は、PC溶剤を使用してください。
- 溶剤には各々、速乾、標準、遅乾、リターダーがありますので、作業環境温度や印刷物の画線の大小等により使い分けてください。
- 可使時間は20°Cで約2～4時間です。
- HIPETインキは標準配合以外に、次のような配合でも使用できます。
  - 皮膜硬度重視配合  
この配合では、硬度4H以上の非常に硬い皮膜が得られ、ハードコート材への印刷に適しています。  
しかし皮膜が脆くなりますので、接着性や後加工性が低下することがあります。
    - インキ 100部
    - 硬化剤JA-970 10～20部
  - 皮膜柔軟性重視配合  
この配合では、柔軟性の非常に優れた皮膜が得られますが、耐溶剤性等の物性は若干低下します。
    - インキ 100部
    - 硬化剤JA-940 10～20部
    - 硬化促進剤JA-E11 0～2部

## 刷版

版の種類	洗浄	推奨印刷膜厚
写真版	ビニール洗用溶剤	厚

## 硬化方法・硬化条件

- 100°C 30～120分  
硬化促進剤の添加量等により硬化時間は変動します。  
事前に試験を行い硬化時間を決めてください。

## 試験データ（環境・物性・耐候性・性能など）

## 条件

インキ配合	HIPET 9301白 100部 硬化剤JA-950 10部 硬化促進剤JA-E11 2部
基材	PETフィルム
乾燥条件	100°C30分の加熱乾燥

## 結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100 合格
塗膜硬度	JIS K5400 8.4 鉛筆硬度試験	2H~3H
耐衝撃性	JIS K5400 8.3.2 デュポン式衝撃試験 径1/2、500g、50cm	塗膜の割れ、剥離なし
耐摩耗性	学振式耐摩耗試験器、カナキン3号綿布 荷重500g、10,000往復	外観、接着性異常なし
耐溶剤性	エタノールラビング 50回	異常なし
耐熱性	110°C、48時間	異常なし
耐寒性	-30°C、48時間	異常なし
耐アルカリ性	5%NaOH、24時間浸漬	表面白化
耐酸性	5%H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> 、24時間浸漬	異常なし
耐候性	南面45°、屋外暴露	全色2年以上異常なし

## 耐候性一覧

等級	色名
5	9305金赤
7	9300メジウム 9301白 9308赤
7-8	9306金赤 9313青黄 9314黄 9316ピンク 9318紅 9325紫 9328オレンジ
8	9345濃藍 9346藍 9375グリーン 9390黒

- インキをメジウムや白インキで薄めて印刷すると、原色の場合よりも耐候性が大幅に低下します。

## 注意事項

- 硬化剤、及び硬化促進剤は、湿気と反応して硬化するため、容器は常に蓋をしてください。保管の際には密栓して冷暗所に保管してください。
- 硬化促進剤JA-E11の主成分は、有機スズ化合物です。現在、有機スズ化合物は法令等で規制されています。HIPETインキにJA-E11を2%を超えて添加した場合に、インキ硬化乾燥膜のスズ含有率が1000ppm超となり、規制対象となります。食品や化粧品と接触する用途、玩具用途などでは、更に厳しい規制があるので、JA-E11は使用できません。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。